

ドローンがみた、 おぐにの風景 No.70



⑦⑩ 実りの時期を迎えた針生地区

針生地区には、かつて越後国（現在の新潟県）と米沢を結ぶ越後街道の支道があり、人馬の往来が盛んであったことから、地区内の吉祥寺にある聖観音は「馬頭観音」として信仰されてきました。（『小国の信仰』小国町誌編集委員会編 1995年より）

撮影日は、収穫の時期を迎え黄金色に輝く一面の稲が太陽に照らされ、より一層光っている様子がみられました。この夏の暑さを耐えて見事に実った姿は、自然の力強さと生産者のかたの米作りに対する並々ならぬ愛情を表現しているようにみえました。